

■著者紹介

伊藤 セツ (いとう・せつ)

1939年 函館生まれ／1962年 北海道大学経済学部卒業／1968年 同大学大学院経済学研究科経済政策専攻修士課程を経て同博士課程単位取得満期退学

1984年 経済学博士 (北海道大学)

1968-73年 北星学園女子短期大学勤務, 1974-89年 東京都立立川短期大学勤務

1989年 昭和女子大学教授。昭和女子大学では、女性文化研究所所長 (2000-04年) / 大学院生活機構研究科長 (2004年-) を務め現在にいたる (2009年3月 定年見込み)

[単 著]

『クララ・ツェトキンの婦人論』(訳著: 松原セツ名) 啓隆閣 1969年。

『クララ・ツェトキンの婦人解放論』有斐閣 1984年。

『現代婦人論入門』白石書店 1985年。

『有斐閣経済学叢書15 家庭経済学』有斐閣 1990年。

『両性の新しい秩序の世紀へ』白石書店 1993年。

『国際女性デーは大河のように』御茶の水書房 2003年。

『女性研究者のエンパワーメント』ドメス出版 2008年。

[単編著]

『ジェンダーの生活経済論—持続可能な消費のために』ミネルヴァ書房 2000年。

[主要共著・共編著]

川口和子・小山伊基子・伊藤セツ『国際婦人デーの歴史』校倉書房 1980年

／大森和子・阿部和子・好本照子・伊藤セツ・天野寛子『家事労働』光生館

1981年／伊藤セツ・天野寛子・森ます美・大竹美登利『生活時間』光生館

1984年／伊藤セツ・掛川典子・内藤和美『女性学—入門から実践・応用まで』同文書院 1992年／天野寛子・伊藤セツ・森ます美・堀内かおる『生活時間

と生活文化』光生館 1994年／伊藤セツ・天野寛子共編『生活時間と生活様式』

光生館 1989年／伊藤セツ・天野寛子・李基栄共編『生活時間と生活意識』

光生館 2001年／伊藤セツ・天野寛子・天野晴子・水野谷武志共編『生活時間

と生活福祉』光生館 2005年など。